

第 2 章

将来都市像の実現に向けて

第1節 市政運営の基本方針 48

第2節 市政運営のテーマ 50

第3節 政策・施策の重点化の視点 52



第2章 将来都市像の実現に向けて



第1節 市政運営の基本方針

将来都市像の実現に向けた市政運営全般の方向性として、次の三つの方針を掲げます。

市政運営の基本方針

- 1 市民の暮らしを大切にします
- 2 市民とともにまちづくりを進めます
- 3 まちの総合力と求心力を高めます

[市政運営の基本方針]

市民の暮らしを大切にします

市民の暮らしに着目した市政運営を進めることによって、多様化・複雑化する市民ニーズや様々な地域事情を踏まえた効果的な政策・施策を推進します

市民とともにまちづくりを進めます

責任ある行政サービスの提供と合わせ、市民自らがまちづくりに関わることができ、多様な形態での協働¹⁶によるまちづくりを進めていくための環境を整えます

まちの総合力と求心力を高めます

地方の中心都市としての特性や多様な地域資源をいかして、総合的な発展を目指します

すこやかなまち
～人と地域が輝く上越～

1 市民の暮らしを大切にします

市民の暮らしに着目することによって、子どもからお年寄りまでの市民の各ライフステージや、居住地域ごとに異なる多様な行政ニーズを捉え、知恵と工夫を凝らした効果的な政策・施策を推進するとともに、安定的なサービスを提供していきます。



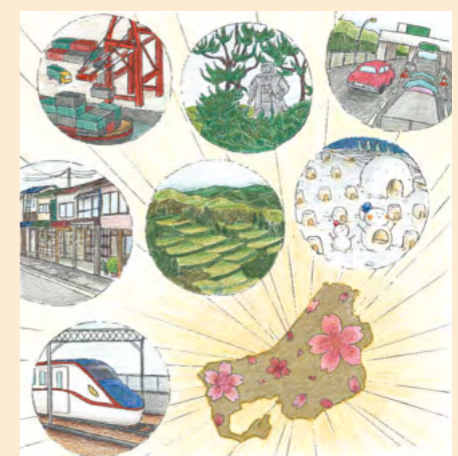
2 市民とともにまちづくりを進めます

本計画に基づく市政運営では、まちづくりの主役である市民一人ひとりが、自らの関心に応じて、能力や個性を発揮して地域づくりに関わり、自らの手でまちを発展させ、市民自身も心豊かな暮らしを実現できる環境づくりに力を入れていきます。
また、多様化・複雑化する市民ニーズや様々な地域事情に対応していくため、自治基本条例¹³の理念にのっとり、地域全体として適切な主体・方法により公共的課題の解決ができるよう、多様な担い手の育成やそれらとの協働¹⁶を一層推進します。



3 まちの総合力と求心力を高めます

人口約20万人を擁する上越地域の中心都市としての当市の規模や、市町村合併によって多様な地域特性・地域資源を有しているまちである当市の特徴を考慮すると、当市の発展のためには、まちの総合力を高めていくことが何より必要であり、また効果的な選択肢であると考えます。
目まぐるしく変化する社会経済情勢や、全国的に進む人口減少などの厳しい状況を乗り越え、克服していくため、まちの総合力を高め、様々な地域資源を総動員して他都市との差別化を図り、一層の優位性を確保するとともに、まちの求心力を高めていくための市政運営を推進していきます。



第2章 将来都市像の実現に向けて

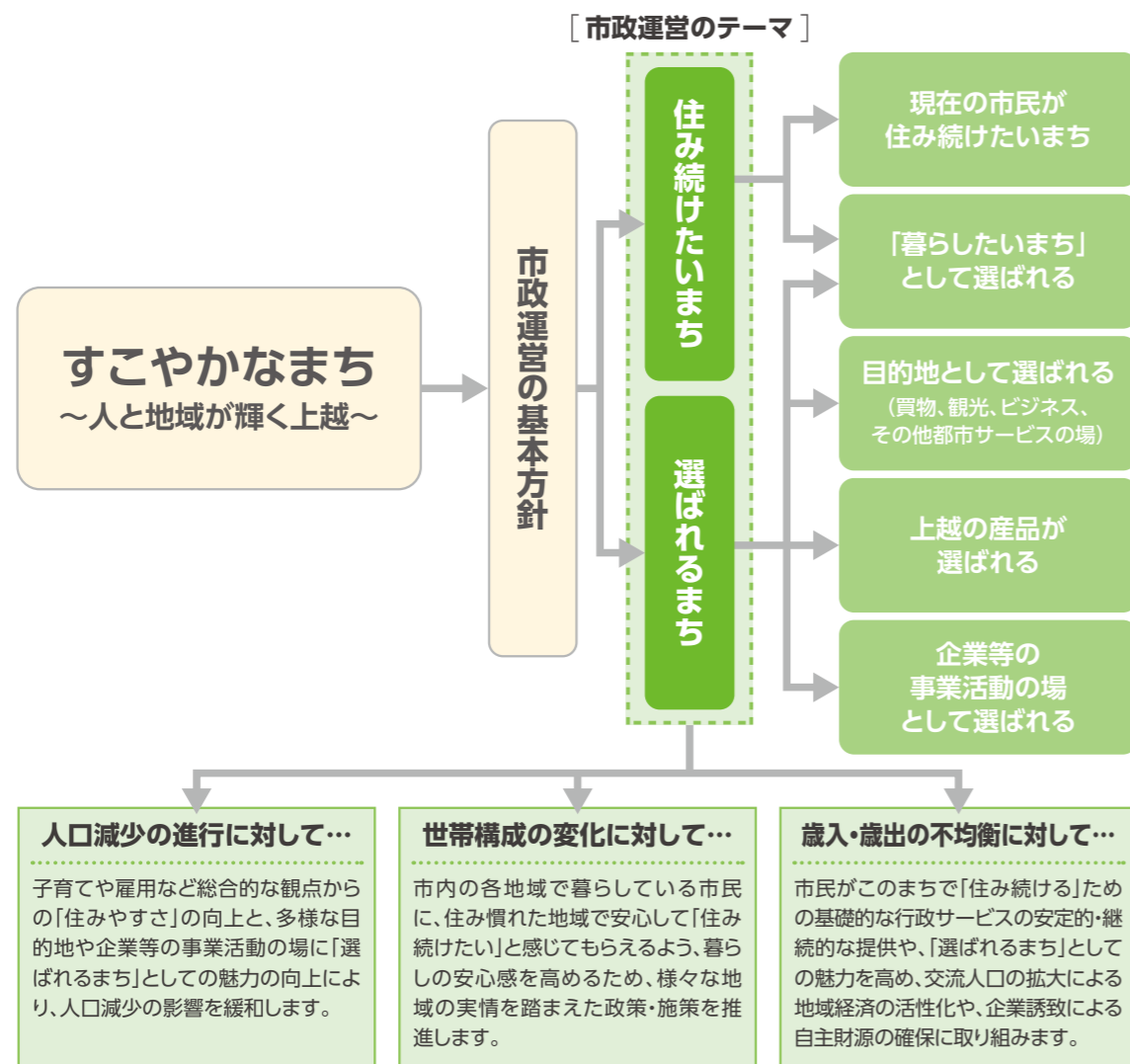


第2節 市政運営のテーマ

第5次総合計画（改定版）に基づく市政運営の評価・検証結果から導き出された三つの共通課題を克服し、将来都市像を実現していくための政策・施策の基調となる考え方として、市政運営のテーマを設定します。

市政運営のテーマ

選ばれるまち 住みたいまち



1 「現在の市民」にとって「住みたいまち」を目指します

将来都市像を実現するためには、現在の市民にとって「住みたいまち」であり続けることが最も重要です。人口減少社会の中で上越市が持続的な発展を目指していくため、まちの主役である市民が、住みたいと実感できるまちであるように、福祉や教育など誰もが生涯を通じて安心して暮らし続けるための政策・施策を総合的に展開していきます。



2 「未来の市民」にとって「選ばれるまち・住みたいまち」を目指します

日本全国が人口減少社会に入らる中では、これから生まれてくる子どもたちや、現在他のまちで暮らしている人たちからも上越市が「選ばれるまち」となり、一度暮らした人には「住みたいまち」と感じてもらうことが重要です。そのため、これからの市政運営では、大都市圏にはない地方都市ならではの暮らしやすさの優位性を高めていくとともに、その魅力を次世代に継承し、より多くの人に向けて発信していくための政策・施策を推進します。また、現在の市民がこのまちの魅力を実感し、まちに愛着や誇りを感じ、市民自身の言葉で発信していくことは、外部へ発信していく上でも大切であり、最も効果的と考えます。そのため、暮らしやすさの向上に向けた政策・施策を推進することにより、市民とともにまちの魅力を発信していきます。



3 まちの求心力を高め、様々な主体から「選ばれるまち」を目指します

上越市が上越地域の中心都市としてだけでなく、広域的な求心力を有するまちとなるためには、企業や団体が当市を事業活動を営む適地として選択し、また全国・世界の人たちが当市を魅力的な旅先として選んだり、当市の産品を求めるなど、「選ばれるまち」としての力を備えていく必要があります。そのためには、まちづくりの担い手それぞれが、自らの手で主体的にまちの未来を切り開いていく取組や努力が不可欠です。特に、北陸新幹線開業により、暮らしやすさや観光面において北信越地域の他自治体との間での競争が今後一層激しさを増すことから、豊かな歴史・自然・文化や、社会インフラ¹の整備・集積、活発な市民活動など当市の優れた資質と大きなポテンシャルをいかしながら、官民を挙げて、新幹線開業という絶好の機会を捉え、最大限活用し、まちの総合力と求心力を高めるための政策・施策を推進します。



第2章 将来都市像の実現に向けて



第3節 政策・施策の重点化の視点

本計画に基づく市政運営では、次の四つの視点に基づいた政策・施策を重点的に推進します。

時間軸 中長期的な視点に立った政策・施策の推進

当市の持続的な発展に向けて、8年間(中期)の計画期間はもとより、計画期間終了後の長期的な時間軸を念頭に置き、当市の将来を展望した政策を推進します。

- 将来的な課題の予防に努め、その影響を緩和・解消するための政策を重点的に推進します。
- 次期総合計画の期間に到来する大きなまちの節目を見据えた準備を進めます。
- 中長期的に市民生活に必要な基礎的な行政サービスを安定的に提供していくことができるよう、適切な受益と負担の関係の構築に重点的に取り組みます。
- 既存施設やインフラ¹の更新期を見据え、計画的な維持・長寿命化に重点を置くとともに、まちの総合力の向上に必要な投資については、有効性と財政への影響を十分に考慮し、時宜を逃さず実施します。

空間軸(市内) 地域特性を踏まえた政策・施策の推進

広い市域や市民生活に影響する多様な地域事情を考慮するとともに、様々な地域資源の活用を推進するため、地域特性を踏まえた政策を推進します。

- 地域ごとの自然環境や都市機能⁸、世帯構成や人口動態の違いを考慮し、住み慣れた地域で暮らしたいと願う市民が安心して暮らし続けられるための政策を重点的に推進します。
- 地域特性を発揮し、多様な地域資源をいかすため、団体・地域による多様な地域資源の発掘・磨き上げの活動を活性化するための政策・施策を重点的に推進します。

空間軸(市外) 広域的な視点による政策・施策の推進

地域間競争・連携の時代の到来を見据え、北陸新幹線開業や上信越自動車道の4車線化などによる交流圏域の拡大を当市の優位性や求心力の向上に向けた好機と捉え、広域的な視点による政策を推進します。

- 広域的な人や物の移動の拠点としての地域特性をいかし地域活性化につなげます。
- 交流促進の条件を整えるための政策を重点的に推進します。
- 北信越地域の中で優位性の高い地域資源の磨き上げや対外的な発信を重点的に推進します。
- 上越地域を超えた範囲にも求心力を発揮できる地方の中心都市として必要な都市機能⁹の確保を重点的に推進します。
- 他都市との広域的な連携による相互補完関係の構築を目指します。

担い手 新しい公共の推進

自治基本条例¹³に基づき、新しい公共(市民が地域や公共の課題を自らの課題として受け止め、課題解決に向けて主体的に取り組むこと)を推進します。

- 市民や地域の主体的な活動の推進に向けて、活動への支援や機運の醸成を図ります。
- 地域を支える人材や協働¹⁶のためのパートナーとなる市民活動の担い手の育成を重点的に取り組みます。
- 多様化する行政ニーズや複雑化する課題に対応していくため、最適な主体により、より良い形で課題解決が進められるよう、市民や地域とのパートナーシップに基づく協働を推進します。
- 多様な主体間の連携・協働を促進するため、市民や地域コミュニティ、市民団体など多様な主体間のネットワークの形成とコーディネートに重点的に取り組みます。